



業務効率があがる！ クラウド録画の便利な機能

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
ビジネスイノベーション部門
NVS企画本部

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

登壇者紹介

■ ファシリテーター
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
NVS企画第二課
立岩久健



■ 講師
Safie株式会社 第一ビジネスユニット
パートナーセールスグループ
田中翔子



アジェンダ

● はじめに

- 講師紹介
- 各社自己紹介
- キヤノンマーケティングジャパンとSafieの関係性

● サービス紹介

- Visualstage Type-S サービス概要
- ログイン方法
- 基本操作
- 各機能紹介
- 他社事例

● おわりに

- 質疑応答
- アンケートご協力のお願い

キヤノンマーケティングジャパンのご紹介

■ 2025年ビジョン

社会・お客さまの課題をICTと人の力で解決する
プロフェッショナルな企業グループ

キヤノン製品事業とITソリューション事業を組み合わせ
より良い未来の実現に向け、価値を提供していきます。



セーフイー株式会社のご紹介

代表	代表取締役社長 佐渡島隆平
所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田1-5-1 A-PLACE五反田駅前
設立	2014年10月23日
従業員数	372名(2023年4月現在)
事業内容	クラウド録画型映像プラットフォーム 「Safie」の開発・運営 および関連サービスの提供
資本金	54.8億円
上場取引所	東証グロース市場(4375)



佐渡島 隆平
代表取締役社長CEO



森本 数馬
取締役 開発本部長 兼 CTO/ エンジニア



下崎 守朗
取締役 企画本部長 / エンジニア

ビジョン

映像から未来をつくる

映像、クラウド、そしてAI技術を駆使し、「賢くなるカメラ」が人々の第三の目となり生き方・働き方を豊かにする映像プラットフォームを提供します。

資本・業務提携企業

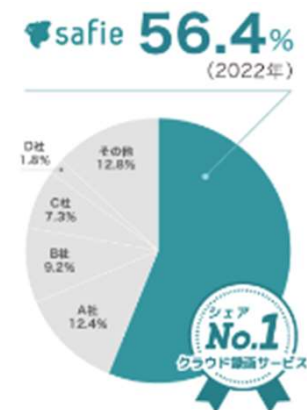


セーフイー社とキヤノンマーケティングジャパン



2017年、2019年Safieへ出資

18.6万台（課金カメラ台数）
クラウドカメラ国内シェア1位 56.4%



アジェンダ

● はじめに

- 講師紹介
- 各社自己紹介
- キヤノンマーケティングジャパンとSafieの関係性

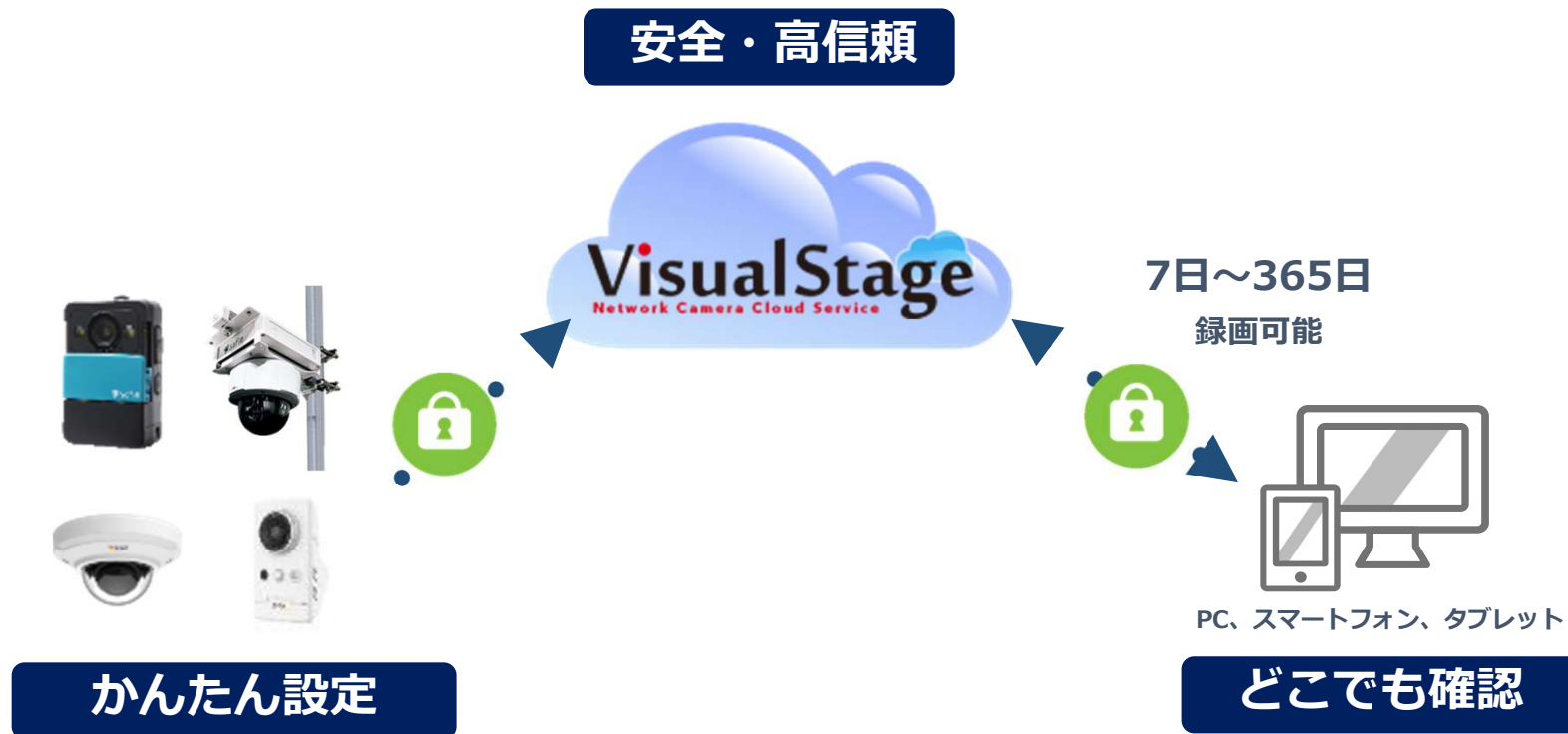
● サービス紹介

- Visualstage Type-S サービス概要
- ログイン方法
- 基本操作
- 各機能紹介
- 他社事例

● おわりに

- 質疑応答
- アンケートご協力のお願い

「VisualStage Type-S」 とは



VisualStage Type-Sを選ぶ3つのポイント

高画質！



- ・ HD×30fps
- ・ きれいでなめらかな映像

高セキュリティ！



自治体、大手企業への導入
実績もある高いセキュリティ
レベル

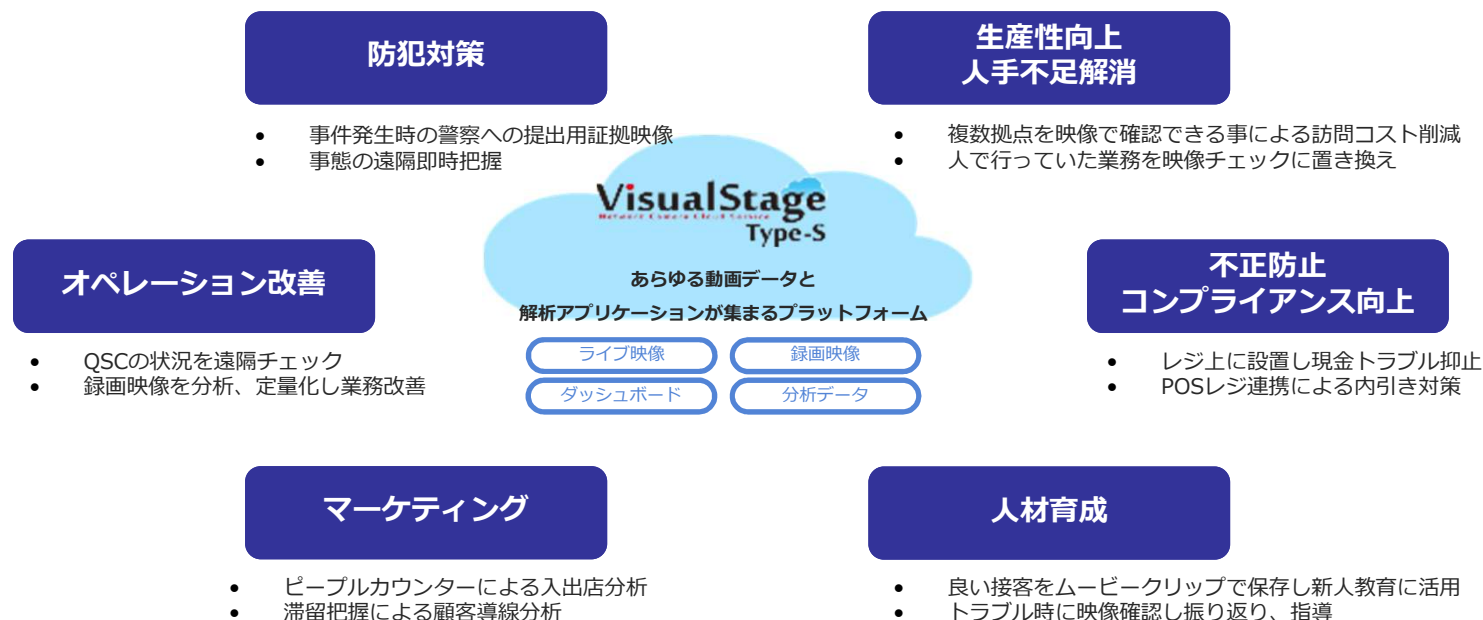
簡単利用！



離れた場所にある
カメラもWEB、アプリで
かんたん管理

VisualStage Type-S 活用シーン

企業様の多様なビジネス課題を解決するために、VisualStage Type-Sサービスをご活用いただいております



ログイン方法と動作環境

ログイン

ご登録いただいたメールアドレスとパスワードでログインしてください。

<https://visualstage.safie.link/>

ビューアー動作環境

◆ Viewer for PC

OS

- ・ Windows 10 / 11
- ・ macOS v10.12以上

ブラウザ

- ・ Google Chrome (最新版)
- ・ Mozilla Firefox(最新版)
- ・ Safari(最新版)
- ・ Microsoft Edge (Chromium最新版)

基本操作 (PC)

基本操作（PC） - メニューの見方



1 カメラ一覧

カメラの一覧画面を表示します。

2 メディアクリップ

ムービークリップやタイムラプス、スナップショットなどの視聴とダウンロード、削除ができます。

3 ダウンロード

期間を指定して動画のダウンロードができます。1台につき、72時間/月までダウンロードできます。

4 ダッシュボード

様々なウィジェットを組み合わせて、独自の閲覧画面を作る・視聴することができます。

5 Safie Apps

便利なアプリケーションがプリセットで配置されています。オプションサービスをご購入いただくことで、それに該当するメニューが追加されていきます。

6 ユーザー設定

メールアドレスの変更や、カメラのご契約一覧などを確認・変更する画面に移動します。

基本操作（PC） - カメラ一覧の見方



1 タグの表示/非表示

カメラに設定されているタグの一覧を表示します。タグを利用したカメラのフィルタリングを行えます。

2 接続状態フィルタ

カメラの接続状態で一覧をフィルタできます。

3 キーワード検索

カメラ名やタグ名、シリアルによるカメラの検索が行なえます。

4 カメラのサムネイル

カメラの現在の映像が表示されます。クリックするとそのカメラのストリーミング画面に遷移します。ドラッグ&ドロップにより並べ替えも可能です。

5 タグ設定、デバイス設定

タグの付与/剥奪やデバイスの設定を行えます。

6 並べ替え選択

一覧の並び順を変更することができます。

7 表示設定

カメラ一覧の表示設定を変更できます。

基本操作（PC） - ストリーミング画面の見方



1 タイムライン
タイムラインを左右にドラッグ＆ドロップすることで、現在の映像を先たり過去の映像を振り返ることができます。

2 イベント制御
「イベント」ボタンをクリックすると表示するイベントの凡例の表示を変更することができます。イベントの凡例をクリックすることでタイムライン上のイベントの表示を制御することができます。

3 タイムスケールの変更
タイムラインのスケール（表示単位）を切り替えることができます。

4 イベントアイコン操作
左右の矢印アイコンをクリックすると現在指定している前後のイベントフラグに遷移します。真ん中の吹き出しアイコンをクリックするとタイムラインの上部にイベントのサムネイルを表示します。

5 共有URL作成
クリックすると現在閲覧しているカメラでの指定した時刻の共有URLを生成します。

6 ムービークリップ
ムービークリップ（保存用動画）とタイムラプス（画像の動画）を作成します。契約内容によって利用可能かどうかがあります。詳しい手順はこちらのページへ。

7 LIVE配信情報
LIVE配信の状況（配信モード/通常モード）を確認できます。また、ご利用中のブラウザの低遅延モードへの対応状況を確認できます。

8 ボリューム調整（マイク付きモデルのみ）
映像再生時の音声音量を調整することができます。

9 グリッド表示
4分割（2x2）または9分割（3x3）のグリッドを表示することができます。

10 映像サイズ変更
映像のサイズを切り替えます。小さい状態だと画面下部にカレンダーが表示されます。

11 フルスクリーン
映像をフルスクリーンで表示します。フルスクリーン状態にしているとPCがスリープ状態になりません。※ ※PCのバッテリーセーブの設定等によっては消灯する場合があります。

各機能紹介

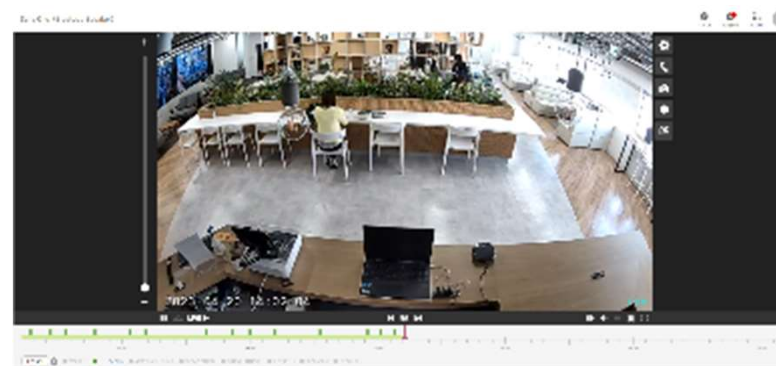
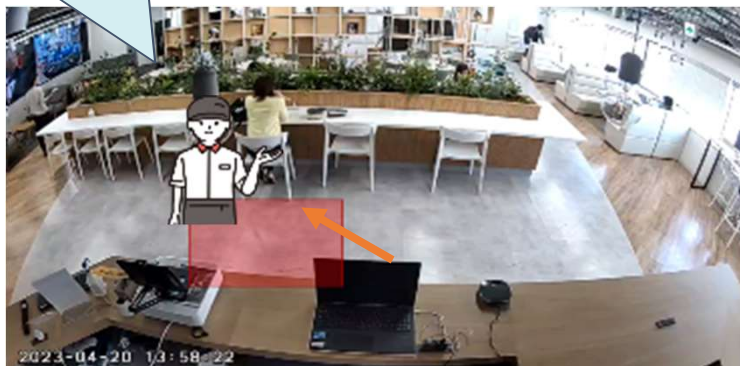
各機能紹介

モーション検知（エリア設定）

モーション検知設定（エリア設定） - 概要

エリアを設定すると、モーション通知設定をより効果的に活用することができます。

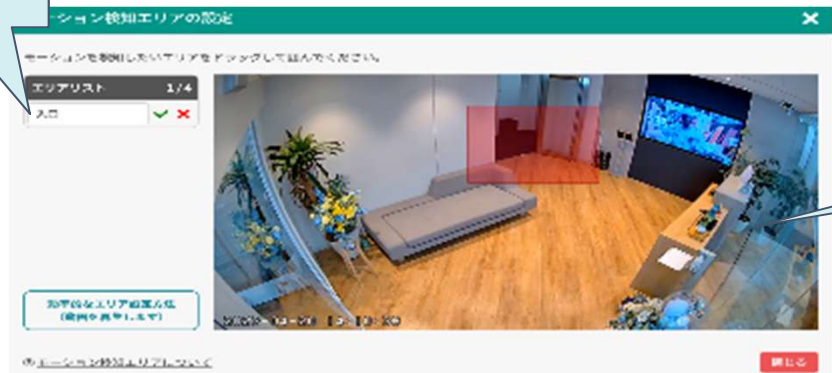
設定したエリアに人が入ったなど
何か動きを検知



モーション検知設定（エリア設定） - 設定方法



エリア名



録画映像画面をクリックしながらドラッグすることで検知範囲の設定をすることができます。

④エリア、エリア名を設定し、右下の「閉じる」をクリックすると設定が完了。

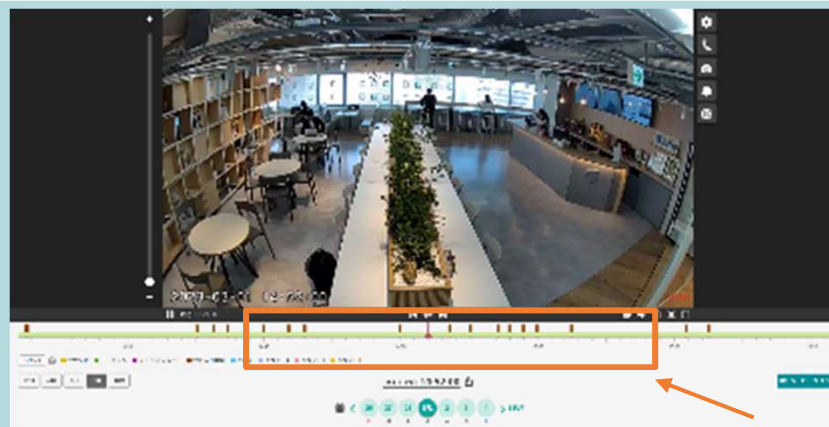


各機能紹介

ムービークリップ機能

ムービークリップ機能 - 概要

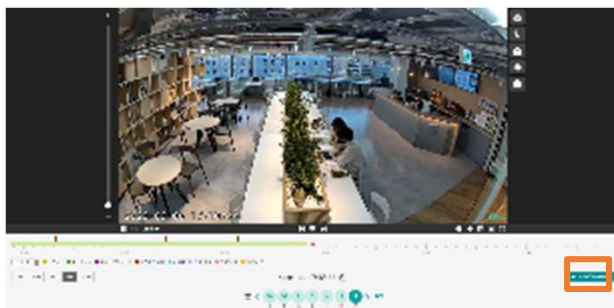
録画映像から残しておきたい時間を指定して映像を切り取り、Safieのクラウド上のストレージに保存できる機能です。作成したデータはSafieのクラウド上に残しておくことも可能ですし、ダウンロードしてローカルに保存することも可能です。



特定の箇所だけ録画をクリップして保存したい

ムービークリップ機能 - 概要

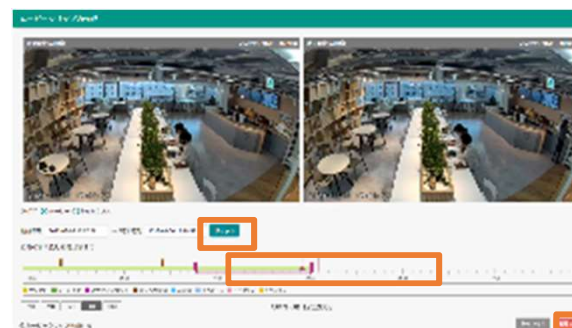
※仕様の詳細は[こちらのヘルプページ](#)をご確認ください



①映像を切り取りたいカメラの映像閲覧画面右下にある「ムービークリップ」をクリック



③データ名を入力し、赤いボタン「作成する」をクリック



②映像を切り取りたい範囲を紫のアンカー若しくは開始時間・終了時間で選択し、右下の赤いボタン「確認する」をクリック



④作成した映像は、「メディアクリップ」にカーソルを合わせ、「ムービークリップ」をクリックするとご確認いただけます。

ムービークリップ機能 - 活用例

① 警察への映像提出に使う

盗難・暴行事件などのトラブル時の証拠映像をムービークリップ化
警察等への映像提出を迅速化



② クレーム・事故の記録として使う

顧客クレームや事故の様子をムービークリップ化し、社内周知に使う



③ 人材育成の教材として使う

接客の良い/悪いを映像として保存し、社員の教育教材として使用



実際に使っている事例

■住宅メーカー様

設置箇所：賃貸物件の出入口・駐輪場など
・警察への映像提供をムービークリップ、キャプチャを使って迅速化。



■携帯ショップ様

設置箇所：携帯ショップ店内接客エリア
・顧客クレームの社内共有
・盗難、暴行事件の記録、警察への提出



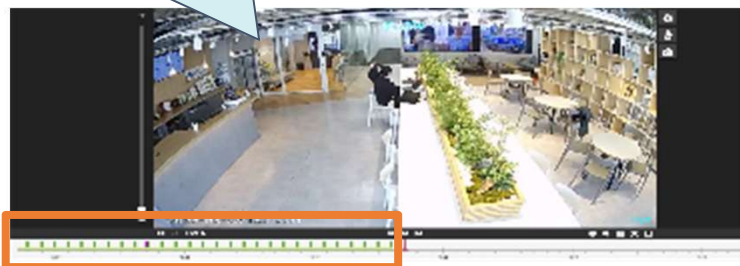
各機能紹介 イベント通知機能

イベント通知設定- 概要

カメラからのイベント通知の有効/無効の設定や通知を受け取る時間を設定することができます。

映像内で

- ・何か動きがあった
- ・大きな音があった
- ・カメラの接続が切断された など

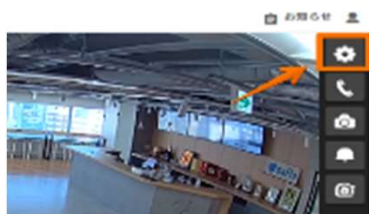


- ・メール通知
- ・PUSH通知



映像閲覧者

イベント通知設定- 設定方法 (PC)



①映像右上の歯車マークをクリック



③

④

①

②



②通知設定をクリック

1 通知の種類を選択

メール通知・アプリのPUSH通知から受信したい通知の種類を選択してください。

2 通知するイベントを選択

受信したい検知イベントを選択してください。接続・切断通知は、切断時間を指定できます。

3 現在の設定を表示

通知の種類・イベントを設定すると設定の状態が反映されます。

4 スケジュールで設定する

通知を時間単位で設定したい場合はこちらをクリックしてください。



④

をクリックすると、スケジュール設定ダイアログが開きます。曜日と時間を設定できます。(深夜をまったく設定の場合は、2つのスケジュールを追加してください。例PM23:00～AM2:00の場合は、23:00～24:00と00:00～2:00)

イベント通知設定- 活用例

① モーション・サウンド検知

- ・侵入禁止エリアの監視に利用



- ・社員の残業管理に利用



② 接続切断検知

- ・営業時間内の録画欠損を最小限に防ぐ



- ・YouTube Live連携しているカメラの配信が切断した際にすぐにリカバリできるように



実際に使っている事例

■ 不動産販売チェーン様

モーション検知



メール通知

- 1) 深夜時間帯にオフィスに設置しているカメラにてモーション検知
- 2) カメラからモーション検知の通知メールを受信専用メールにて受信
- 3) Google Apps Scriptを利用して自動集計
- 4) オフィス毎（カメラ毎）に時間外労働をチェックに活用

各機能紹介 シェア機能

基本操作（PC） - カメラ一覧の見方

シェア機能では、**カメラのオーナーの方から他のユーザーへ映像を共有**ことができます。また、シェアユーザーごとに権限を細かく設定できます。

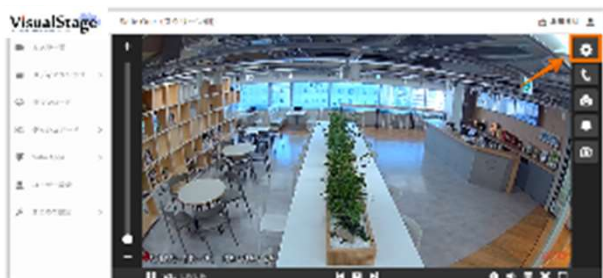
カメラごとに個別にシェアする方法と、一括でシェアする方法の2つがあります。

※シェア上限：カメラ1台あたり15人まで



シェア操作方法 - ①カメラを1台ずつシェア

カメラを個別にシェアする場合はこちらを参考に設定してください。
※仕様の詳細は[こちらのヘルプページ](#)をご確認ください



①シェアしたいカメラの歯車マークをクリック



②デバイス設定のメニューからシェア → シェアユーザーを追加をクリック



③シェアユーザーのメールアドレスと各権限を設定 → シェアするをクリック



④シェア実行のポップアップが表示されたらシェア完了

シェア操作方法 - ②一括でシェア

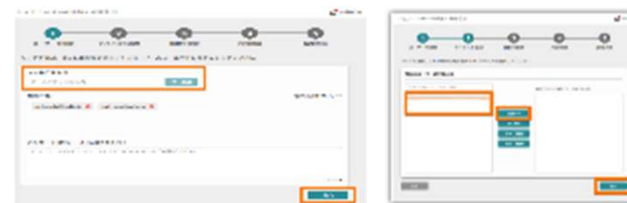
一括でシェアをする場合はこちらを参考に設定してください。
※仕様の詳細は[こちらのヘルプページ](#)をご確認ください



①カメラ一覧画面の左メニュー → まとめて設定にカーソルを合わせてシェアユーザーの追加・権限定更をクリック



③シェアユーザーの各権限を設定



②シェアユーザーのメールアドレス入力 → 次へ → シェアするカメラを選択



④ユーザー・デバイス・権限設定を確認 → 実行する

シェア機能 - 活用例

①SVや店長へのシェア

複数店舗を管理している管理者へ映像シェアし、遠隔管理で業務効率化。現場スタッフの働く姿が見える化。

②業務委託元へのシェア

委託元への店舗運営状況の報告書代わりに映像で報告。

③警察へのシェア

暴行・万引きなどの犯罪が起きた際に、映像データを共有。



実際に使っている事例

■大手飲食チェーン様



■小売店様



カメラ映像を関係者へシェアすることで、これまで発生していた報告書作成や情報共有時の認識齟齬を解消し、円滑なコミュニケーションが可能に！（業務効率化）

各機能紹介 タグ機能

タグ機能 - 概要

複数のカメラを管理する際に便利な機能です。それぞれのカメラのグループ分けを簡単に行うことができます。

関東の映像だけ一覧で観たい



絞り込んで表示



タグ機能 - 操作方法

タグ機能を使用する場合はこちらを参考に設定してください。
※仕様の詳細は[こちらのヘルプページ](#)をご確認ください



①タグを設定したいカメラの歯車マークをクリック



③タグの追加画面が表示されます。こちらの画面上で、タグ名の入力や非公開タグ・公開タグの設定を実施してください。



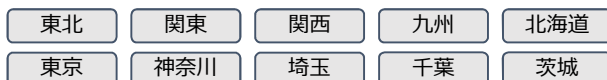
②デバイス設定のメニューからタグをクリックします。



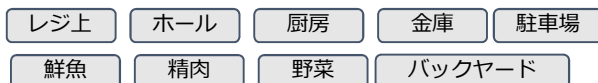
④カメラ一覧の画面上で[タグ]をクリックすることで、該当のタグが付与されているカメラを表示することができます。

タグ機能 - 活用例

①地域ごとにタグ付け



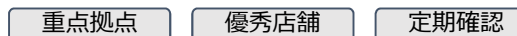
②撮影対象ごとにタグ付け



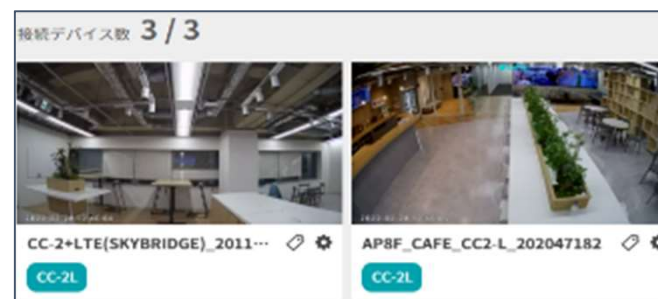
③ブランドごとにタグ付け



④その他タグ付け



※その他、自身のアカウントにのみ紐づけされるプライベートタグも利用可能。



実際に使っている事例

■大型スーパー様

エリアごとのタグ付け



売り場ごと（鮮魚・精肉など）のタグ付け

お客様の声：

ダッシュボードを作り込むと変更が大変だが、タグは手軽に設定が可能。

事例紹介

事例① 株式会社焼肉ライク様

全店舗にカメラを導入。映像を振り返り「3分提供」オペレーション改善を実現！



会社概要

飲食店の経営、フランチャイズチェーン加盟店の募集および加盟店の経営指導を行っている企業。一人で行ける焼肉屋として、全国に店舗を展開。

導入カメラ



QBic CLOUD CC-2L

Before

導入背景・目的

- 店舗の状況の遠隔把握のため。2店舗目以降を展開する際に各店舗のオペレーションなどを見る必要があった
- オペレーション徹底実施のため。「3分提供」オペレーションを徹底するために、各店舗の状況を効率良く把握する必要があった
- カメラの映像を使って提供スピードの計測や動線確認を実施するため
- クレームがあった際の事実確認のため

After

活用方法・効果

- 場所を選ばずスマホを使って店舗状況を確認することができるため、**店舗マネジメントを効率よく行うことができるようになった**
- 「3分提供」ができていないか、本部で映像を振り返り検証。オペレーションの改善により、**サービス提供のスピードが短縮された**
- カスタマーアンケートの結果をもとに、映像を確認する必要がある場合のみ録画映像をチェック。**接客の改善に活用**

Canon

【開示範囲】 2023/7/14 オンラインセミナー 参加者各位

© Canon Marketing Japan Inc., 2023

事例② ハウス食品株式会社

リモートで生産ラインをチェック。社員一人ひとりのモチベーション向上にも効果



会社概要

「食を通じて、家庭の幸せに役立つ」という理念のもと、変化するライフスタイルや食へのニーズを先取りし、製品の開発・改良に日々取り組む。

導入カメラ



Safie Pocket2

Before

導入背景・目的

- コロナ禍により、遠隔地にある生産工場への移動が制限されたため「立ち会い」をリモート化したかった
- 時短勤務中などで出張が制限される研究員でも、立ち会い作業に携われる方法を模索していた
- リモート立ち会いの方法として、スマホやタブレットでのビデオ通話を試みたが、画角が安定せず、両手も塞がってしまうので危険だった

After

活用方法・効果

- 立ち会いのリモート化により、**参加人数の制限なく関係者全員の参加が可能に**
- **録画映像をもとに気になる工程のチェックも効率化**
- 市販のバンドで肩にカメラを装着して使用
- 音声通話機能で**1対Nの双方向会話**を実現
- 出張に制限のある時短勤務の研究員も担当した製品の生産工程まで携わることができ**モチベーションアップ**に繋がった

事例③ 株式会社スペースマーケット様

民泊・レンタルスペースのトラブル抑止に。備品メンテナンスから入退室管理まで



会社概要

2014年設立。貸し会議室から民泊まで、約8,000（取材時点）ものユニークなスペースの予約から支払いまでワンストップで行えるプラットフォームを提供。

導入カメラ



QBic CLOUD CC-2L

Before

導入背景・目的

- レンタルスペース市場の育成を目指す上で、トラブルの際に記録を映像として残せる防犯カメラが必要だった
- 自社運営のレンタルスペース「FIKA」を展開する際、ライブ映像も録画映像も手軽にチェックできるクラウドカメラを探していた

After

活用方法・効果

- 防犯カメラがあることを利用者にきちんと伝え、玄関前にもセーフィ어의防犯シールを貼り明示することで、**利用後の清掃の不備や、備品が破損するなどのトラブル**がなくなった
- 利用者が予定通りの時間に入退室したかどうか映像を観るだけで確認でき、**少人数でのレンタルスペース運営**が可能に

アジェンダ

●はじめに

- 講師紹介
- 各社自己紹介
- キヤノンマーケティングジャパンとSafieの関係性

●サービス紹介

- Visualstage Type-S サービス概要
- ログイン方法
- 基本操作
- 各機能紹介
- 他社事例

●おわりに

- 質疑応答
- アンケートご協力をお願い

質疑応答

本日は弊社セミナーに
ご参加・ご清聴いただき
誠にありがとうございました

ウェビナーアンケートに
ご協力をお願いいたします

アンケートにご協力いただいたお客さまに
本日の資料をお送りいたします

<https://forum1.canon.jp/public/application/add/8472>

アンケートのフォームはこちら





Canon